※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	(学)政治経済 演習②	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	詳述政治・経済（実教出版）						
副教材等	最新図説政経（浜島書店）、４ステージ演習ノート政治・経済（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・経済の語句やデータは教科書や資料集を活用して、できるだけ自分で調べて考察することを求めます。その上で現代の社会問題に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察してもらいたいと思います。
・地理歴史の科目や本校での「総合的な探究の時間」で学んだことを活かしつつ、地理的視点や歴史的視点を合わせた上で、経済の観点から国際社会における日本の果たすべき役割や自らの生き方について考察してもらいたいと思います。

2　学習の到達目標

・経済のしくみを深く理解し、経済原理の本質を理解するとともに、実生活とのつながりに気づく。
・現代の社会問題、国際関係について主体的に考察し、広い視野から公正に判断する力を養う。
・良識ある公民として必要な能力と態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	経済の諸事象と人間としてのあり方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。また、経済と私たちの実生活にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	経済と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	経済にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	経済社会の変容	・資本主義経済の発展 ・グローバル化と現代資本主義経済	a:歴史的な変遷の中から時代ごとの経済理論について学習する。 b:資本主義経済の変遷を学び、経済のグローバル化の意義について考察する。 c:これからの資本主義経済のあり方について主体的に考察する。	定期考査	定期考査 授業内課題	授業内ワーク 提出課題
―	現代経済のしくみ	・市場経済 ・現代の企業 ・国民所得と経済成長 ・金融のしくみ ・財政のしくみ	a:現代経済のしくみについて、基本原理を理解し、今日的課題について考察を深める b:現代の企業の特徴を学習し、経済統計の指標について、その動向を考察する。また、市場経済の原理、金融のしくみについて、資料を活用して理解を深める。さらに、今日の日本の財政上の課題について考察する。 c:現代の企業の CSR について考察を深める。	定期考査	定期考査 授業内課題	授業内ワーク 提出課題
―	現代経済と福祉の向上	・日本経済の歩み ・日本の中小企業と農業 ・国民の暮らし ・環境保全と公害防止 ・労使関係と労働条件の改善 ・社会保障の役割	a:戦後日本経済の変遷を学び、日本経済の諸課題についての理解を深める。 b:日本の農業の現状、消費者問題、環境問題、労働問題などを考察し、解決策について探究していく。日本経済のさまざまなデータを整理し、それぞれの特徴をつかむ。 c:戦後の日本経済の歩みを振り返り、現代の日本経済の諸課題を考察する。	定期考査	定期考査 授業内課題	授業内ワーク 提出課題

※令和４年度以降入学生用

	世界経済と日本	・商品・資本の流れと国際収支 ・国際経済体制の変化 ・金融のグローバル化と世界金融危機 ・地域経済統合と新興国の台頭 ・経済協力と人間開発の課題	a:外国為替相場など市場の動向を理解し，為替相場の変動が経済にどのような影響を与えるのか考察する。 b: 外務省や国連のホームページなどを参照し，国際社会や各国の課題を知る。 c:国際社会について自分なりの展望を持ち、発展途上国の現状を知り，貧困や飢餓などの克服のために自らがどのようなことができるかを考察する。また、国際経済の観点から主体的に国際社会の課題を考察する。	定期考査	定期考査 授業内課題	授業内ワーク 提出課題
	現代社会の諸問題	・政治・経済上のテーマ別学習	a:各テーマの課題を正しく捉え、その解決と新たな課題について理解を深める b:日本や国際社会の諸課題の論点を整理し、探究のためのデータを活用する。 c:政治・経済上のテーマを通して、さまざまな課題について関心を高める。また、それぞれの課題とその解決に向けた探究を行う。	定期考査	定期考査 授業内課題	授業内ワーク 提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度